

詳細な読みに主体的に取り組ませる授業展開例

《1年生》

- 場面の演出を考えることで、主体的に読みを深め、心情をとらえさせよう -

教材名：「麦わら帽子」(光村図書『国語1』)

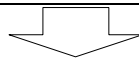
学習状況調査との関連

文章の展開に即して内容、特に登場人物の心情をとらえる設問の通過率が、全国通過率を大きく下回る。



文章の一部分のみにとらわれることなく、文章全体を読んで展開を押さえながら、登場人物の行動、表情等に注目して心情を読み取らせる指導が必要です。

文章の構成や展開を正確にとらえ、内容を理解する設問の通過率が低い。



場面を読み取るために、時間や場所、またそれを表すキーワードに注目させる指導が必要です。また、「現在 過去 現在」や「発端 展開 山場 結末」といった構成パターンを意識させて読ませる指導も行う必要があります。

設定した言語活動とそのねらい

登場人物の行動について脚本を作る

- ・ 直接には語られていない登場人物の心理を動作や情景から読み取り、演出を考えさせます。
- ・ 楽しく活動しつつも、必然的に文章を丁寧に読むようになります。
- ・ 自分が考えた心情を的確に表現する言葉を考えさせます。

グループで考えた演出を基に、監督会議を開く

- ・ 個人で考えた演出案をグループで紹介し合い、グループ案を決めさせます。さらに、各グループの代表による監督会議を開くことで、それぞれの読みの交流を図ります。それぞれの演出を協議する中で、読みを深めさせます。
- ・ 演出の紹介においては、必ず、根拠とした本文の表現を示させることで、単なる話合いに終わらせず、読みを深める協議に結び付けます。

単元の指導目標

- (1) 演出を考えたり、他者の演出を聞いたりすることで物語を楽しませる。〔関心・意欲・態度〕
- (2) 作品中の言葉に注目しながら、登場人物の心情を考えて演出をさせる。〔C読むこと (1)ア〕
- (3) 文章表現に関心をもって、自分の演出の表現を工夫させる。〔言語事項 (1)ウ〕

単元の評価規準

- ア 自分の演出と比較しながら、他者の演出を聞こうとしている。〔関心・意欲・態度〕
- イ 作品中に用いられる心情を表す表現に注目している。〔C読むこと (1)ア〕
- ウ 演出をする際に、作品の表現を根拠にしようとしている。〔C読むこと (1)ア〕
- エ 自分の演出がよく伝わるように、感情を表す言葉を考えている。〔言語事項 (1)ウ〕

単元計画

時	学習活動	評価規準と〔評価の方法〕
1	<p>「麦わら帽子」を読む。 人物・背景・事件について把握する。 事件に注目することで、「発端 展開 山場 結末」という構成パターンを意識させます。 マキの変化について課題を知る。 事件の前後に表現されている「あんちやたちはまぶしくて見るができない」という部分に注目させ、事件について読むという課題を知らせます。</p>	<p>ア 似た表現に注目して、筆者の意図を考えようとしている。〔観察〕</p>
2	<p>「もののけ姫」のシナリオを読み、アフレコに挑戦する。 【ワークシート1】 ビデオ「もののけ姫はこうして生まれた第3章」を見て、演出について知る。 【ワークシート1】 学習課題「『麦わら帽子』を演出しよう」を知る。</p>	<p>ア 登場人物の心情を考えると、演出にとって大切であることを感じている。 【ワークシート1】</p>
3	<p>事件が起こった小さな無人島の場面のシナリオに、マキの表情や効果音、言葉を入れて、演出を行う。 【ワークシート2】</p>	<p>イ・ウ 手掛かりとなる情景描写や行動描写に線を引いている。【ワークシート2】 エ マキの気持ちが伝わるように表情や効果音を書いている。【ワークシート2】</p>
4	<p>グループで個人の考えを紹介し合い、グループの案を一つに絞る。 一覧表にした各グループ案を見て、監督会議で協議する演出部分を決める。</p>	<p>ア 他者の意見を自分の考えの参考にしている。【話合いの様子】 ウ 自分が考えた演出の根拠となる部分を説明している。【話合いの様子】</p>
5	<p>監督会議を開き、それぞれの演出について質問や意見を出し合う。 【学習資料】 マキの成長について考える。</p>	<p>ウ 他者の意見を聞くことで、根拠となる読みを深めている。【評価メモ】 ア 他者の意見を聞くことで、物語を読む楽しさを感じている。【アンケート】 イ マキのこれまでの心情を考えて、内面の成長を表現している。【授業の様子】</p>

1 / 5 時

「麦わら帽子」を読んで、あらましをつかむ

人物・背景(舞台)
・事件について把握させます。

事件を簡潔にまとめるのは結構難しいので、ポイントを押さえます。

マキの変容に目を向けさせます。

「麦わら帽子」
今江祥智

登場人物
マキ
・ あんちゃ
・ あんちゃの友達

舞台
小さな漁師町の浜から行く小さな無人島

事件
カメを助けようとしたためおぼれかけた潮のたぬきおぼれかけた

「帽子のせいだ、急に大人びて見えるマキのことが、あんちゃも友達も、ちよっぴりまぶしそだった。」

「あんちゃたちは、ひと夏じゅう、マキも麦わら帽子もカメも、まぶしくて見ることができなかった。」

表現の違いに注目!

指導のポイント
教師の気付き

展開例の枠は右のようになっています。

教師の発問

生徒の発言

「神戸のおじさん」を登場人物に入れてしまう生徒もいるので注意します。

初めの方は、おしゃれな麦わら帽子のせいだと分かるけれど、後の方は帽子のせいじゃなさそう。事件をきっかけに、マキやあんちゃたちが変わったと考えられる。だから、事件を中心にみんなで考えてみよう!

2 / 5 時

アフレコに挑戦して「演出」に出会う

音声を消した映像に合わせて、台詞を言わせませす。(アフレコ)
宮崎監督や音声監督が一つの台詞に対し、いろいろな感情を要求している場面を見せ、演出について知らせませす。

生徒は、同じ場面でも演出によって表現が様々に変わることを実感していきます。

人物	台詞
イノシシたち おことぬし 乙事主	(顔を出す) もどってきた (乙事主を見て)
サン 乙事主	あー、もどってきた。 よみ 黄泉の国から戦士たちがみんなもどってきた。 (乙事主、ほえる) (乙事主、振り返りながら) 続け、戦士たち! しし神のもとへ行こう! (乙事主を、走って追いかけるながら) 乙事主様、落ち着いて。 死者がよみがえったりしない。

「麦わら帽子」ワークシート1
「もののけ姫」のアフレコに挑戦!
「もののけ姫」のシナリオ(ワンシーン)



宮崎監督と音声監督の注文(=演出)を聞き取るう!

* 生徒記入例

驚きを入れてください。

リア王のよう。

こは強くこぼつぐやき

喜びがあた方がい。

乙事主とサン役に挑戦! 実際に自分で台詞を言うことで、映画監督や音声監督の要求の多様さや役者の反応のすばらしさを感じることができます。演出とはどんなものであるか体験させませす。

そんなにいろいろ要求するなんて厳しい。

要求に応じていろいろ言い方が変わって、すごい。

言い方によって話の雰囲気が変わるね。

話の中で、人物がどんな気持ちかっているいろいろ考えられるんだね。

ワークシート1

監督気分で「麦わら帽子」を演出する

演出は次の3パターンで考えさせました。

表情や気持ち（こんな表情や気持ちで動作をさせたい）

効果音（ここでは、こんな雰囲気音楽を流すと、気持ちにぴったり！）

言葉（つぶやきや叫びなど、原作にはないが言わせたい）

* ただし、言葉は2箇所のみ。限定しないと安易に台詞に走ってしまいます。

人物	動作等	演出
マキ	ぬれた麦わら帽子をだきしめる。	
あんち やたち	舟の上でマキを見つめる。 (舟が近づいてくる。)	
マキ	(ハそまで海水が上がる) 麦わら帽子を差し上げる。	
マキ	カモメを見つめる。	
マキ	(ひざからももまで、海水が上がる) 立ち上がり、向こうの島を見つめる。	
マキ	声を上げる。	
マキ	(くるぶしまで海水が上がる) 麦わら帽子をかかえこみ、舟を待つ。	
マキ	麦わら帽子にカモメを入れている。	

【「麦わら帽子」ワークシート2】「麦わら帽子」を演出しよう！

ワークシート2 (この下の欄に本文の一部を付けたものを配布します)

生徒記入例を見ると、
で一方向からの感情を書いていることが分かります。
この後の学習で「ぐっしょりぬれた～か細い腕」「マキの言いたい言葉」に注目させ、協議させました。
の中の読みが浅いものについては、根拠をもって協議する中で解決されていきました。

- 生徒記入例
- ・うれしそう表情で
 - ・おとなしく中に入ったからほっとして
 - ・少しほほえみながら
 - ・あせっているような感じで
 - ・悲しそうにつぶやく
 - ・少し不安そうな感じで
 - ・「おい、早く」
 - ・「あんちゃー」
 - ・「助けてー」
 - ・だんだん怖い気持ちになって
 - ・怖い感じの音楽を流す。
 - ・寂しそうな感じで
 - ・不安そうな表情で
 - ・暗い目で
 - ・今にも泣きそうな表情で
 - ・疲れ果てた表情で
 - ・必死な感じで
 - ・我慢する感じで
 - ・「気まずい感じの表情で
 - ・不安そうな表情で
 - ・再会の喜びの音楽
 - ・助かってうれしいという感じで
 - ・安心した表情で
 - ・悲しい表情で

単なる思いつきではなく、しっかり文章を読んで演出を考えさせるために、下段の本文で根拠となる部分に線を引かせました。色ペンを用いるなど工夫している生徒もいました。

個人でもすんなり書けました。しかし、個人だけでは読みの浅いものが見られました。自然と本文を読みながら、心情を表す言葉を考えていました。
例：「つらそうに」「気まずい感じで」「怒って」「不安そうに」など

グループごとに演出をまとめ、クラス協議の柱を決める

グループになり、個人の演出を紹介し合い、グループ案にまとめさせます。

8つの動作についての各班の演出を一覧表にして、違いの大きい演出をクラス協議の柱とします。

の演出

- 一班 カモメを心配そうな目で見つめる。
- 二班 ありがとつって気持ちで思いつき帽子を抱きしめる。
- 三班 肩を落とし、ため息をつく。
- 四班 安心した気持ちで。
- 五班 悲しい表情で。
- 六班 ちよつと悲しい様子で。

事件最後の部分の「あんちやたち 船の上でマキを見つめる」と「マキ ぬれた麦わら帽子を抱きしめる」は、班によって大きく演出が異なりました。この部分は協議の中で一番盛り上がりました。

「麦わら帽子」演出班会議結果例

監督会議を開く

話し合いに向けて準備をさせます。


【「麦わら帽子」監督会議用学習資料】

監督会議を開いて、クラス演出案を決定しよう！

代表監督の発表例
 「(私たち) 班は、で……という表情をするといいて考えました。」
 根拠となる部分は、『……』というところです。

協議での発言例(自分の立場を明らかにして)

賛成 「……という 班の演出は、『……』という部分から考えて、とてもよいと思います。」
 付け加え 「班の演出は、『……』という部分も根拠となると思いますが。」
 疑問 「班の演出は、『……』という表現をすると、もっと分かりやすいと思います。」
 反対 「班は、『……』と書かれているのに、なぜ……という演出にするのですか？」
 「班の……という演出は、『……』と書かれているので、原作からずれると思います。」



学 習 資 料

話し合いの視点について学習し、協議が充実したものになります。また、代表者の話し方についても知らせておきます。

監督会議を開きます。



班の代表者が監督として前に並び、演出の説明を行います。その後、質問や意見を出し合います。教師は、生徒の意見をまとめたたり、生徒が気付かない部分を補ったりします。

主な協議の内容

あんちゃたち
舟の上でマキを見つめる

【一班演出】
ほっとした表情

【三班演出】
責任を感じてどうしようもない表情

【四班演出】
マキを助けて感動の様子

「マキは口もきかず」「あんちゃたちも口がきけず」とあるから、感動していないのではないですか？

「カモメのはばたきの音だけ……」とあるから、気まずい感じがします。

「ありがとう」っておかしいですか。あんちゃたちはウニに夢中になっていたから。

マキが一人でどんな思いだったかをもう一度振り返らせて、「カモメを助けた満足感」「あんちゃたちへの怒り」など複雑な思いがあることを考えさせます。

マキ
ぬれた麦わら帽子を抱きしめる

【二班演出】
あんちゃたち、ありがとうという気持ち

【五班演出】
安心した気持ちで

【六班演出】
悲しい気持ちで

マキの変化を考える

第1時で提示していたマキの変化について考えさせます。

帽子のせいでも、まぶしい。

マキの変化

- ・ 内面的に成長した
- ・ 精神的に強くなった
- ・ 自信をもっている

「あんちゃたちは、……まぶしくて見ることができなかった。」

演出でマキの心情を考えた生徒たちからは、「マキの成長」という言葉が比較的スムーズに出ました。

生徒の反応

いろいろな演出が出ておもしろかった。

みんなで反論したり、意見を出したりして考えるのが楽しかった。

他の人の意見を聞いて、納得できたのでよかった。

同じ文章を読んでも、いろいろな表現が出てきて、なるほどと思った。

生徒は、丁寧に文章を読み、心情を考えようとしていました。さらに、生徒の考えた演出を基に協議をしたことで、生徒も積極的に登場人物の心情を考え、ぴったりくる言葉を探そうとしていました。